

平成 12 年国勢調査

第 3 次 基 本 集 計 の 概 要

就業者の職業（大分類）、世帯の型

1 職業

高知県の 15 歳以上の就業者 393,820 人の職業大分類別就業者数は、生産工程・労務作業者が 100,411 人（就業者の 25.5%）と最も多く、次いで事務従事者が 64,257 人（同 16.3%）、専門的・技術的職業従事者が 55,198 人（同 14.0%）、販売従事者が 53,620 人（同 13.6%）、農林漁業作業者が 49,703 人（同 12.6%）などとなっている。平成 7 年と比べると、サービス職業従事者が 11.4%の増加となっているのに対し、管理的職業従事者が 25.3%、農林漁業作業者が 16.7%の減少となっている。

また、男女別に見てみると、男性では生産工程・労務作業者が、男性就業者の 32.7%と一番高く、女性では事務従事者が女性就業者の 24.5%と一番高くなっている。

年齢別の職業を見てみると、65 歳以上の年代で農林漁業作業者が最も高く、それ以外の年代では、生産工程・労務作業者が最も高くなっている。

2 夫婦の労働力状態

世帯に同居の夫婦の組数は 197,291 組となっている。その就業状態をみると、夫婦ともに就業者の同居の夫婦の組数は 98,166 組（同居の夫婦の総組数の 49.8%）、夫が就業者で妻が就業者以外の同居の夫婦の組数は 47,885 組（同 24.3%）、夫婦ともに就業者以外の同居の夫婦の組数は 39,742 組（同 20.1%）、夫が就業者以外で妻が就業者の同居の夫婦の組数は 9,670 組（同 4.9%）となっている。

3 母子世帯・父子世帯

母子世帯は 5,494 世帯で一般世帯の 1.7%となっている。

父子世帯は 929 世帯で一般世帯の 0.3%となっている。